

トヨタ、2050年カーボンニュートラルに向けたチャレンジ

トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)は、パリ協定を支持しており、2050年カーボンニュートラルに向けて全力でチャレンジしてまいります。

トヨタは、世界の204の国と地域でクルマを販売、これまでも業界トップクラスのCO₂の削減に取り組んできました。「エコカーは普及してこそ環境への貢献」との考えのもと、1997年から20年以上にわたり、累計1,700万台以上の販売を通じて培ってきたHEV技術を起点に、PHEV・BEV・FCEVといった電動車のフルラインナップを活用し、今後もPractical 且つ Sustainableに排出削減を進めていきます。国・地域ごとに異なる経済環境やエネルギー政策・産業政策、そしてお客様のニーズにきめ細かくお応えし、最適な電動車を提供していくことで、カーボンニュートラル実現を目指してまいります。

自動車産業におけるカーボンニュートラル実現には、再生エネルギーや充電インフラなどのエネルギー政策と、購入補助金、サプライヤー支援、電池リサイクルシステムなどの産業政策の一体的な運用が必要不可欠であり、各国政府や業界団体など様々なステークホルダーと連携した取り組みが必要です。トヨタはグローバルに事業活動を展開する上で、各国政府と、こうした電動化推進に向けた環境整備について相談しながら、ライフサイクル全体でのCO₂削減に資する電動化戦略を推進してまいります。また、当社および業界団体を通じた渉外活動がパリ協定の長期目標に整合しているかどうかのレビューと、その評価・対応を年内に開示いたします。こうしたカーボンニュートラル実現に向けた取り組みが、より多くのステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう充実した情報発信にも努めてまいります。

以上